

リエゾン通信

Liaison Association

No.
11

活動開始
2019年～

東京多摩地区 骨粗鬆症リエゾンの会



医療法人永寿会 陵北病院 田邊 美香 (看護師)

✉ makiruno1090@yahoo.co.jp

市民 430 万人の骨の健康維持を

東京都は人口約 1,400 万人です。約 970 万人の人口をもつ大都市 23 区の区部、多摩地区の市部 (26 市と 3 町 1 村)、そして島嶼部から成り、私たち東京多摩地区骨粗鬆症リエゾンの会は、約 430 万人が暮らす市部 (26 市) を中心に活動しています。メディカルスタッフをメンバーの中心として 2022 年で活動 3 年目に入りました。

メンバーの所属施設は、急性期病院やクリニックと規模はさまざまで、それぞれの環境での取り組みについて情報を交換し合っています。医学的な見地からのアドバイスや意見をいただいたり、また会の活動をスムーズに地域連携に広げていくために、メンバーにはドクターもいます。現在は、東大和病院の山岸賢一郎医師、東小金井さくらクリニックの豊泉泰洋医師、松崎整形外科医院の松崎健一郎医師に参画いただいています。

年 2 回のセミナー開催

私たちは会員向けの年 2 回のセミナー開催を主な活動として、これまで 4 回のセミナーを行ってきました。記念すべき第 1 回はコロナ禍前の 2019 年 2 月に、対面にて行うことができました (写真)。東大和病院の山岸医師からのレクチャーの後に、「明日から出来る取り組み」をテーマに、参加者同士で骨粗鬆症診療における課題を出し合いま

した。また骨粗鬆症マネージャーをはじめメディカルスタッフ全員で悩みなどを共有し、ワークショップ形式で課題解決の意見交換を行いました。2 回目以降はコロナ禍に見舞われたため、すべてウェブ開催に切り替え定期的にセミナーを続けています。

多職種、多施設、多地域からの参加

セミナーでは、急性期病院、クリニックといった施設の種別や、またチーム、個人も問わず演者を決めて、演者自身が取り組んでいるリエゾンサービスについて発表しています。発表後には発表者のみなんで決めたテーマでディスカッションを行っています。画面越しながらも活気あるやり取りが行われ、毎回よい刺激を受けています。

またオンライン開催では、多摩地区に限定せず、全国の医師、メディカルスタッフにもセミナーを聴講いただいています。これは、発表者やディスカッサーにはプレッシャーになる部分ではありますが、大きな経験、そして、自施設での取り組みや課題を全国のメディカルスタッフと共有できる貴重な機会であり、今や当会セミナーの特色となっています。

見える多職種連携、

スムーズな地域連携をめざして

OLS (骨粗鬆症リエゾンサービス) や FLS (骨